

## UNOSDP ユースリーダーシップキャンプ東北大会



### UNOSDP Youth Leadership Camp (YLC)

ユースリーダーシップキャンプ

開発途上国の各コミュニティにおいて、平和と開発へ向けたスポーツの活動に従事する18～25歳の若者を対象にリーダーシップ教育を行う。参加者の構成は国籍のバランスに加え、世界人口構成比を勘案し、女性の参加者が50%以上、障がいを持つ者が10%以上となるような配慮がされており、それぞれの社会的立場や経験、文化的背景を認め合い、その多様性を活かしてお互いに学び合うことを重視している。プログラムはリーダーシップ・コミュニケーション・ソーシャルスキル等実践的な技術や平和・障がい者理解・社会統合・教育等のトピックに関するレクチャーと、様々な種類のスポーツ活動実習で構成されている。これまで、2012年1月Doha(カタール)、6月Hennef(ドイツ)、10月Macolin(スイス)、2013年1月Doha、5月Macolin、6月Stockholm(スウェーデン)、8月Gwangju(韓国)、2014年1月東京(日本)、3月Berlin(ドイツ)、6月Florida(アメリカ)、8月Stockholm、Gwangju、2015年2月Gwangjuで開催しており、今回の東北大会は14回目にあたる。



### The United Nations Office on Sport for Development and Peace (UNOSDP)

国連 開発と平和のためのスポーツ事務局

国際連合欧州本部であるジュネーブに本部、ニューヨーク国連本部に支部を持ち、国連事務総長・特別顧問のWilfried Lemke氏(2008年4月～)がトップを務める。スポーツを通じて国連ミレニアム開発目標(MDGs)を達成すべく、主に男女平等、子供・若者育成(ユースリーダーの育成を含む)、社会統合と人権(障がい者を含む)、開発(特にアフリカの最貧地域)、平和構築と紛争解決(特に中東地域)に取り組んでいる。また、会議・報告書・国連決議・普及啓発・広報・ネットワーク構築等の活動によって、スポーツを手段として活用することの理解・促進を図ると共に、関係者間の対話・知識共有・コラボレーション・パートナーシップ構築を促進することにより、分野を横断した対策を講じている。